香美市文芸

風の流れ

【短歌】　楠瀬　兵五郎　選

四百年つづけし我が家の田作りは吾一代にて終りとなるらし　岡林　華伝
虎杖を折りし谷田はとどむるも田を養はぬ水に転ぶ石　大岸由起子
多羅葉は赤き実つけてひつそりと郵便局駐車場犇く車　都築　初代
輝きし庭木々の実も小鳥らに食ひつくされて睦月尽くる雨　坂上のぶ子
点滴をうくる嫗は「イビ」に刺されしと注射を云へり懐かしきことば　小松もとみ
灰色の背見せて猫は身じろがず風をきくのか雲あふぐのか　佐竹　玲子
枯れ葦にゆれるビニール去年の夏の出水の名残り中州の中に　佐々木真里
花びらに群がるは日本ミツバチか移し植えたるヒマラヤ桜　宮地　亀好
掌の中の錠剤十粒朝毎に数へて飲めりこぼさぬやうに　山﨑かつみ
「スタートの年」と書かれし友よりの賀状を見つむ共に還暦　古川　安子
三ヶ月病みて過ごしし外科病棟退院の朝ふくこの嵐　有澤　泰子
道の辺に踏みつけたりしその花を母子草とう詫びてまた見つ　門脇　千代
男でも花好きありて我が庭は赤白黄色花園となる　鍵山　春子
老いることは悲しみではない帰省せし息と歩みゆく若葉の下を　吉本　悦子
庭に降り花柄を摘む息子の姿おだしく生きよ職引きたれば　門田　喜美
接木して姉は逝きけり紅梅の大木になりて花満開に　西尾　玉喜
庭先に大根千切る老婆居り曾孫はいよりかじりては吐く　山本　太幸
農地農機も継ぐなき子等は職にあり農の絶えるも良いかと割切る　高野　和一
峡の道右に左に丸き月あすは正月家路を急ぐ　大石　綏子
橋梁に入り口出口あるといふ五つの橋を尋ね確かむ　門田　明子
脚すこし開きて葉のもと握りしめぐっと引っぱる大根ぬける　公文　正子
さざんくわの散りたるさ庭に沈丁花の小さきつぼみ春を待ちゐる　小松　禮子
一端の農家のごとく農協の堆肥注文書にわが名を書きぬ　高橋　章
葉を散らし潤ひ失せしハイビスカス　ビニールハウスに生気のもどる　武内　弘子
年毎に開く梅は古木なり花も細りてひそやかに散りぬ　出原　久子
満天にきらめく星は亡夫と孫脇によりそふ姿に見ゆる　林田　幸子
そら豆の品種はふっくら「お多福」でこの頃ぐっと丈の伸び来る　松中　賀代
出る杭は打たれると云ふ諺を知ってか知らずかのさばる人あり　公文　千恵
ゆび編みに出合いし子等の白き手にぬくもり伝うふれあいの一日　谷内　務
活花は手直しされて花は生きる四季折々にハウス作りて　岡村　和躬
蕗のとう一房一房描きながら春の温もりうれしとそえる　楮佐古きよ
ほのぼのと吾をつつみゆく夕桜人恋しさに城址をさまよふ　山﨑　貴子
孫二人職に就きしを喜びて社会に役立つ事念じをり　小松　隆之
病む人の息の終りの近づくを目のあたりにしわれは眠れず　小原　子川
手直ししいつか世に出さん愛しさは落ちこぼれたるわれの作品　森本　幸美
気持ちだけあれもこれもと段取れど仕事進まず昭和一桁　坂本　好
細き足群れて首振るフラミンゴ紅色映ゆるアニマルランド　伊藤　清子
五十八回同窓会はふる里安芸　校舎につづく広き砂浜よ　古谷　由美
遺すもの無き身の軽さ楽しまむオープニングはしばてん踊り　法光院俊子
落椿踏まぬようにと幼子が花を飛びこえぴよこぴよこ歩む　大石沙智子
食べられる為に生まれしかスーパーの魚の目は何か言いたげ　尾立　かよ
北風をまともに受ける無人駅待つ人々も言葉少なく　竹村　稔美
春めきて木瓜の花咲き椿咲きクリスマスローズ赤白優し　横田直加子
内原野の先生の歌碑一度はわれも見たきもの時を作りて　山﨑　緑
就職の孫を見送り門に立ち祈りは尽きず無事を願ひて　森　晶子
われとわが老いの深きが身にしみて歌作るより鍬持つがうれし　鍵山　みつ
この度は寄らぬ子規堂一遍さん何か忘れごとしたる思ひに　楠瀬兵五郎

※俳句・短歌の応募は、企画課内広報委員会事務局まで。投稿方法は自由です。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】香美市役所企画課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782－8501（住所記載不要）　FAX 53・5958

駅前に情報発信施設オープン！

館内

4月1日、JR土佐山田駅前に、商店街や観光情報を発信する交流施設**香美市いんふぉめーしょん**がオープンしました。建物の外壁にはアンパンマンのキャラクターの浮き彫りが飾られており、館内には、液晶フォトフレームにより、市の文化、観光地等が紹介され、小窓を開くと、市の特産品や観光地の写真などが現れる仕掛けの展示もされています。

オープニング当日の式典には、やなせさんも出席し、自身が作詞・作曲した「笑う商（笑）店街」の土佐山田駅前バージョンを歌い、テープカットやくす玉などで、祝いました。

この施設は、年中無休で、8時から18時まで案内を行っています。

新保育園名称決まる！

4月6日、市長室で新保育園（土佐山田町北組西）の**名付け親大賞・名付け親賞**の授賞式が行われました。

新保育園の名称は**あけぼの保育園**に決定し、応募総数130通の中から、波古康文さん（土佐山田町）が大賞を受賞しました。波古さんは「あけぼの街道が近く、また夜明けを意味することから、明るく温かい保育園であり続けてほしい」という願いから、あけぼの保育園と名付けられました。

名付け親賞は、「おひさま保育園」と応募した窪内優灯君（香長小6年）、「あおぞら保育園」と応募した北村俊介君（さくら保育園）が受賞しました。

新庁舎に願いをこめて

4月1日から、市役所新庁舎建設現場の南北の仮囲いに、市内の小学校児童による絵画が展示されています。

児童の絵は、『未来の香美市』『香美市への希望・夢』『未来の自分』をテーマに「笑顔あふれる　香美市」や「自然と心豊かな　町づくり」など、香美市への願いを込めたフレーズが書かれており、新庁舎への期待が込められています。

ノンステップバス導入！

市営バス大栃別府線に、ノンステップバス※が導入され、4月から運行されています。

同線は、利用者の大半を高齢者が占めることもあり、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し、今回導入されました。県内の市町村が運営するバスでの導入は香美市だけです。

※乗降口の段差をなくし、乗降しやすいバス。